

# 明日、千葉地裁へ

## 「津田沼デッチ上げ告訴事件」公判 第2回

# 日刊 動労千葉

81.12.9  
No. 916

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）  
（鉄電）二九三五～六（公衆）〇四三（二七二〇七）

## 6・12デッチ上げ告訴の張本人ニ斉藤吉司ニ 検察側証人を弾劾する！

全組合員の皆さん。明日の「6・12津田沼事件」第二回公判に検察側証人として出廷するデッチ上げ告訴の張本人ニ斉藤吉司を全組合員の声で弾劾しようではないか。

権力へのデッチ上げ告訴・告発を行ない、いままた裁判においてわが動労千葉の三名の仲間を「有罪」にするための検察側証人としてありもしない「デッチ上げ事実」を身ぶり手ぶりで証言しようとする裏切り者・斉藤吉司ニ動労「本部」革マル反動分子を絶対に許すことは出来ない。

明日、全支部・全組合員は、千葉地裁に総結集しよう。

動労「本部」革マル反動分子の裏切りと屈服

デッチ上げニ国鉄当局への処分要請。

② 「6・12事件」デッチ上げ告訴・告発。

「6・12事件」公判闘争で「本部」反動分子をさらに追いつめよう

このように、動労「本部」革マル反動分子は、この数年間、誰の目にも明らかのように動労の戦闘的伝統をふみにじり、動労を鉄労以下の最悪の右翼労働組合とし、警察労働運動路線を突き進んでいる。

動労「本部」革マル反動分子は、明日の「6・12事件」公判における検察側証人ニ斉藤吉司の防衛を権力に「お願い」し、それでも不安な彼らは関東から二〇〇〇三〇〇の革マル分子を動員しようとしている。

しかし、われわれは、今こそ、動労「本部」革マル反動分子によってわが動労千葉破壊攻撃としてかけられた「6・12デッチ上げ告訴」を逆手にとって、徹底した公判闘争の中に彼らを引きずり込み、権力との一体性、反動性・反労働者を満天下に暴露し、彼らを動労から一掃・追放し、動労大改革をかちとろうではないか。

この闘いこそ、「6・12デッチ上げ事件」公判闘争に勝利する唯一の道である。

今日、動労中央を牛耳る動労「本部」革マル反動分子の反動性・反労働者性と腐敗墮落した姿は動労の全組合員はもとより多くの労働者の前にまします明らかとなっている。

△1✓反合理化闘争の放棄

① 武操合理化への屈服、貨物安定輸送宣言による国鉄貨物合理化積極推進。

② 55・10時改における乗務員運用合理化攻撃への「積極攻撃」型反合闘争と称する「要員はき出し」の「協力・屈服」合理化絶対反対路線の放棄。

③ そして今や「国鉄必要論」を前面に国鉄輸送市場の確保・拡大をはかり、外注化・切り捨てを阻止するために一人一人がもつと働き度高めるニ国鉄当局・鉄労顔まけの合理化積極推進を動労の「今後の取り組み」としている。

△2✓右翼労働戦「統一」の積極的推進

① 帝国主義労働運動をめざす「推進会」の「基本構想」に全く反対せず、「括参加を狙っている総評指導部を最大限擁護している。

② 岩井章氏ら総評三顧問を中心とする右翼労働戦「統一」反対の声に対し、「分裂主義者、権力密通分子」などと最大限の敵対を行なっている。

△3✓三里塚・反戦闘争への敵対

① 78年津山全国大会における三里塚闘争敵対「一線を画す」方針の強行。——動労千葉排除攻撃。

② 動労千葉の81・3ジェットストへの公然たるスト破り。

③ 自衛隊ニ軍事物資輸送の積極的承認。

△4✓動労の警察労働運動化の推進

4・17津田沼武装襲撃、4・15津田沼事件デ

